

# 片品村役場 庁舎個別施設計画

令和2年3月

片品村 総務課

## 1 計画の位置づけ

片品村庁舎個別施設計画は、平成 28 年 10 月に策定された片品村公共施設等総合管理計画を上位計画とした個別インフラ長寿命化計画として位置付けられます。

## 2 対象施設

片品村公共施設等総合管理計画における行政系施設の中で、庁舎等に関する以下の 6 施設を計画の対象施設とします。

No	建物名称	所在地	建築年度	延床面積 (㎡)	構造
1	庁舎	鎌田 3967-3	昭和 53 年 (1978)	3088.00	鉄骨鉄筋 コンクリート
2	庁舎車庫	鎌田 3967-3	昭和 53 年 (1978)	342.67	鉄骨造
3	公用車車庫	鎌田 3967-3	平成 30 年 (2018)	481.72	鉄骨造

## 3 計画期間

計画期間については、令和 2 年度から令和 11 年度までの期間とします。

なお、公共施設等総合管理計画の見直しなどにより適宜見直しを図っていきます。(5 箇年を目途に見直し。)

## 4 対策の優先順位の考え方

対策の優先順位については、不特定多数が出入り可能である当施設の特性を踏まえ、利用者の安全性確保や利便性に係る修繕を最優先とします。

## 5 個別施設の状態等

庁舎は、村民に対する行政サービスの提供拠点として、また、防災活動拠点として特に重要な役割を担っています。上位計画である片品村公共施設等総合管理計画においても、庁舎は昭和 53 年度に建築され、令和 2 年度中において耐震補強工事を実施したため、耐震性において現時点では特に問題なしとの評価になっています。

## 6 対策内容と実施時期

庁舎・車庫及び公用車車庫については、緊急性の高い劣化はみられないため、定期点検を実施し、不具合の早期発見、予防保全に努めるものとします。

施設名称	今後の方針	説明
庁舎	現状維持	<ul style="list-style-type: none"><li>・村民に対する行政サービスの提供拠点、また、防災活動拠点として不可欠な施設。</li><li>・昭和 53 年度に建築され、令和 2 年度中において耐震補強工事を実施したため、耐震性に現時点では問題はない。</li><li>・定期点検等を実施し、不具合の早期発見、予防保全に努める。</li></ul>
庁舎車庫 (庁舎北側)	現状維持	<ul style="list-style-type: none"><li>・不具合の早期発見、予防保全に努める。</li></ul>
公用車車庫	現状維持	<ul style="list-style-type: none"><li>・不具合の早期発見、予防保全に努める。</li></ul>